年表で見る 40年のあゆみ

40 Year's History with Timeline

シルバー人材センター

昭和56年度

- 56年 6 月　社団法人広島市シルバー人材センター設立認可
- 56年 7 月　事業開始
- 57年 1 月　「広島シルバーだより」創刊号の発行

昭和57年度

- 57年 6 月　全国シルバー人材センター協会（全シ協）設立総会開催（東京）
- 57年12月　全シ協評議員会開催（東京）
- 地域班世話人説明会開催

昭和58年度

- 58年 8 月　県下シルバー人材センター・高齢者事業団連絡会議開催（県主催）
- 58年12月　会員互助会発足
- 59年 1 月　再生自転車作業所設置（西区井口明神一丁目17番 4 号）

昭和59年度

- 59年 4 月　北支部設置（安佐北区可部三丁目19番23号安佐北区役所分館内）
- 59年 6 月　花き取替事業着手（平和大通りラ・パンセの像前）
- 59年 7 月　再生自転車発売開始（第 1 回公開販売）

昭和60年度

- 60年 4 月　佐伯出張所設置（佐伯区海老園二丁目 5 番28号　佐伯区役所別館内）
- 61年 1 月　創立 5 周年記念誌編集委員会開催
- 61年 3 月　法制化要請署名簿を県へ提出

社会の動き

昭和56年度

- 56年10月　福井謙一博士にノーベル化学賞
- 57年 2 月　東京のホテル・ニュージャパン火災で宿泊客57人死傷
- 日航機、羽田沖で墜落、24人死亡、141人重軽症

昭和57年度

- 57年 6 月　第 2 回国連軍縮特別総会で、荒木広島市長が核兵器廃絶を訴える
- 57年 8 月　デ・クエヤル国連事務総長来広（広島市）
- 58年 3 月　中国縦貫自動車道開通

昭和58年度

- 58年 5 月　日本海中部地震、死者・行方不明104人
- 58年 5 月　ハノーバー市と姉妹都市提携（広島市）
- 58年10月　ロッキード裁判の東京地裁、田中角栄元首相に懲役 4 年追徴金 5 億円の実刑判決
- 58年11月　第17回日米市長・商工会議所会頭会議開催（広島市）

昭和59年度

- 59年12月　電電公社の民営化
- 60年 3 月　科学万博ーつくば'85開催
- 60年 3 月　五日市町合併・百万都市へ（広島市佐伯区役所開所）

昭和60年度

- 60年 4 月　'85ワールドカップマラソン広島大会開催
- 60年 8 月　日航ジャンボ機、群馬県の山中に墜落、520人死亡、4 人重傷
- 第 1 回世界平和連帯都市市長会議開催（広島市）

シルバー人材センター

昭和61年度

- 61年９月　シルバー祭りの開催（広島そごう百貨店）
- 　　創立５周年記念式典挙行（県民文化センター）
- 61年12月　第１回しめ縄飾り販売

昭和62年度

- 62年４月　安芸出張所設置（安芸区船越四丁目28番３号安芸区役所分館内）
- 62年９月　労働省職業安定局高齢者対策部藤永職業対策課長と中国ブロック連絡協議会理事との意見交換
- 62年11月　政令指定都市シルバー人材センター連絡会議開催（広島サンプラザ）

昭和63年度

- 63年８月　定期新規会員入会説明会の開始（第２・第４木曜日）
- 63年11月　「西白島おさらい教室」の開設（試行）

平成元年度

- 元年７月　サービス群総合研修会開催（当センターサービス群会員参加）
- 元年11月　市中央老人福祉センター分館新設に伴い移転
- ２年３月　グレンダ・ロバーツ女史（元ハワイ大助教授）家事援助・介護サービス調査のため来所

平成２年度

- ２年６月　第１回シルバーきもの着付教室開講式
- ２年７月　センター・サービス協会合同研修会の開催「老いと死をみつめて－ケアを通して思ったこと－」
- ３年１月　第１回10周年記念事業実行委員会開催

社会の動き

昭和61年度

- 61年10月　広島市と重慶市との友好都市提携
- 61年11月　伊豆大島の三原山が12年ぶりの大噴火
- 61年11月　国鉄分割、民営化法が成立

昭和62年度

- 62年10月　マサチューセッツ工科大学の利根川進博士にノーベル医学・生理学賞
- 63年３月　世界最長の青函トンネル開業　青函連絡船が80年の歴史に幕
- 　　広島駅南口広場完成

昭和63年度

- 63年４月　瀬戸大橋開通
- 63年12月　山陽自動車道市域内全線開通（広島市）
- 64年１月　昭和天皇崩御「激動の昭和」終わる
- 元年１月　元号を改元「平成」となる
- 　　新天皇陛下に皇太子明仁親王殿下が皇位を継承、即位される

平成元年度

- 元年４月　市制100周年（広島市）
- 　　広島城築城400年（広島市）
- 元年７月　'89海と島の博覧会・ひろしま開催（～10月）（広島市）

平成２年度

- ３年１月　湾岸戦争勃発
- ３年２月　平岡広島市長就任
- ３年３月　新交通システム橋げた落下事故（広島市）

年表で見る 40年のあゆみ

40 Year's History with Timeline

シルバー人材センター

平成３年度

- ３年４月　平岡市長当センターを視察
- ３年７月　創立10周年記念式典の開催
- ３年８月　初代理事長　酒井節司理事長　逝去
- ４年１月　第１回安全対策委員会開催

平成４年度

- ４年10月　「優良シルバー人材センター」として労働大臣表彰
- 自転車再生事業が、リサイクル推進功労者表彰
- 会員の生活意識等の調査を実施

平成５年度

- ５年10月　安全対策推進員の設置
- ５年12月　第１回会員感謝祭開催
- ６年１月　安全標語入りカレンダー配付開始

平成６年度

- ６年９月　第１回健康ウォークの実施
- ６年12月　基本計画の策定及び承認
- ７年１月　阪神大震災義援金の募集開始（２月、広島市を通じ寄贈）

平成７年度

- ７年10月　第１回シルバーふれあいバザー開催
- 第１回交通安全教室（自転車の安全な乗り方教室）の実施
- シルバー人材センター機能強化のための署名活動の実施

平成８年度

- ８年10月　第１回会員ふれあい芸能祭の開催
- ８年12月　北支部事務所の移転（安佐北区亀山一丁目20番１号）
- 社団法人広島県シルバー人材センター連合会設立

社会の動き

平成３年度

- ３年６月　雲仙・普賢岳で大火砕流発生
- ３年９月　台風19号で広島県内大被害
- ３年12月　ソビエト連邦消滅

平成４年度

- ４年６月　国連軍縮会議広島会議開催
- ４年８月　株価値崩れ、バブル景気完全終焉
- ４年９月　毛利衛さん乗り組みのスペースシャトル打ち上げ

平成５年度

- ５年６月　皇太子徳仁親王、小和田雅子さん「結婚の儀」
- ５年８月　第３回世界平和連帯都市市長会議開催（広島市）
- ５年10月　広島空港、広島西飛行場開港

平成６年度

- ６年８月　アストラムライン開通
- ６年10月　広島アジア大会開催
- ７年１月　阪神・淡路大震災発生
- ７年３月　東京・地下鉄サリン事件

平成７年度

- ７年８月　広島被爆50年
- ８年２月　北海道・豊浜トンネル岩盤崩壊、バス乗客ら死亡
- ８年２月　第１回全国都道府県対抗男子駅伝競争大会開催（広島）

平成８年度

- ８年９月　ひろしま国体、おりづる大会開催（～10月）
- ８年10月　基町高層アパートで火災
- ８年12月　原爆ドームと厳島神社が世界遺産登録
- ９年３月　大河ドラマ「毛利元就」博開催（広島市）

シルバー人材センター

平成 9 年度

- 9 年 9 月　第 1 回ビルクリーン講習会の実施
- 10年 2 月　市内ケーブルテレビ 5 社、シルバー紹介ビデオ放送

平成10年度

- 10年 9 月　第 1 回応急手当講習会の実施

平成11年度

- 11年 6 月　安佐南分室にてソーイングサービス事業開始
- 12年 2 月　シルバープラザ交遊館の開所
- 　県連合主催で、「シルバーフェア広島」開催
- 12年 3 月　植木スクール開校

平成12年度

- 12年 5 月　シルバープラザ交遊館内にてカルチャー教室開始
- 12年 9 月　訪問介護員（ヘルパー）3 級課程養成研修開始
- 12年12月　設立20周年記念事業企画・実行委員会の設置

平成13年度

- 13年 5 月　第二次基本計画の承認
- 13年11月　設立20周年記念式典の開催

平成14年度

- 14年 6 月　IT グループ発足

社会の動き

平成 9 年度

- 9 年 5 月　神戸児童殺害事件
- 9 年 7 月　香港がイギリスから中国へ155年ぶりに返還
- 10年 2 月　第18回長野冬季オリンピック開催

平成10年度

- 10年 9 月　広島特産のカキが赤潮で大打撃
- 11年 1 月　欧州連合（EU）の単一通貨「ユーロ」導入
- 11年 2 月　秋葉広島市長就任

平成11年度

- 11年 5 月　「瀬戸内しまなみ海道」開通
- 11年 6 月　集中豪雨により大きな被害が発生（広島市）
- 11年 9 月　茨城県東海村の核燃料加工会社で臨界事故が発生

平成12年度

- 12年 4 月　介護保険制度発足
- 12年 7 月　九州・沖縄サミット開催
- 12年11月　第15回国民文化祭・ひろしま2000開催
- 13年 3 月　芸予地震発生

平成13年度

- 13年 4 月　紙屋町地下街「シャレオ」開業（広島市）
- 13年 6 月　大阪教育大付属池田小学校児童殺傷事件
- 13年 9 月　米国で同時多発テロ発生
- 13年10月　2001ねんりんピック広島開催
- 13年10月　野依良治教授にノーベル化学賞

平成14年度

- 14年 5 月　日韓サッカーワールドカップ開催
- 14年11月　「ひろしまドリミネーション」開催

年表で見る 40年のあゆみ

40 Year's History with Timeline

シルバー人材センター

平成15年度

- 15年 4 月　ホームページを開設
- 15年 4 月　シルバープラザ交遊館、市中央老人福祉センター 2 階に移転、業務内容を文化教室に変更

平成16年度

- 17年 3 月　事業実績が20億円を超える

平成17年度

- 17年 4 月　湯来分室設置（佐伯区湯来町大字和田333番地　湯来福祉会館内）
- 18年 1 月　「公共駐輪場関連業務の就業期限に関する要綱」施行

平成18年度

- 18年 5 月　広島市の「子どもの見守り活動」に参加

平成19年度

- 19年 5 月　総会で会費、事務比率の引き上げが決定

平成20年度

- 21年 2 月　シルバー派遣事業の導入

平成21年度

- 21年11月　佐伯出張所の移転（佐伯区海老園二丁目11番41号　水道局佐伯庁舎 3 階）

社会の動き

平成15年度

- 15年 3 月　イラク戦争勃発
- 15年10月　住民基本台帳本格稼動
- 16年 1 月　ぽい捨て等の防止に関する条例の罰則適用開始（広島市）

平成16年度

- 16年 9 月　プロ野球、初のストライキ
- 17年 3 月　愛知万博開催

平成17年度

- 17年 4 月　佐伯郡湯来町と合併し、人口が115万人を超える
- 17年 4 月　個人情報保護法施行

平成18年度

- 18年 9 月　秋篠宮家の長男、悠仁親王が誕生
- 18年10月　郵政民営化により、日本郵政株式会社発足
- 19年 2 月　平和記念公園が国の名勝指定

平成19年度

- 19年 7 月　新潟中越沖地震発生
- 19年 7 月　サブプライム住宅ローン危機

平成20年度

- 20年 7 月　北海道・洞爺湖サミット開催
- 20年 9 月　リーマンショック
- 21年 1 月　オバマ氏黒人初の米大統領に
- 21年 3 月　新しい広島市民球場（マツダスタジアム）が完成

平成21年度

- 21年 4 月　新型インフルエンザ流行
- 21年 5 月　裁判員制度施行

シルバー人材センター

平成22年度

- 23年２月　設立30周年記念事業企画・実行委員会の設置
- 23年３月　公益社団法人の認定を受ける

平成23年度

- 23年４月　公益社団法人の登記をする
- 事務局だより発行開始（～平成25年７月）
- 23年６月　第１回区別研修会開催
- 23年８月　設立30周年記念式典の開催
- 24年２月　佐伯出張所事務所の移転（佐伯区海老園二丁目５－28）
- 24年３月　第３次基本計画策定

平成24年度

- 24年４月　シルバー農園開設（中野ふれあい農園）
- 24年６月　第１回リーダーステップアップ研修開催
- 24年10月　シルバーの日ボランティア事業の開始
- 広島労働局から「適正就業の徹底」の指導を受ける

平成25年度

- 25年６月　リサイクルショップ開設（西区商工センター七丁目７－２）
- 25年10月　入会方法を随時入会へ切替え

平成26年度

- 26年６月　北支部事務所の移転（安佐北区可部四丁目13－13）
- 26年10月　有料職業紹介事業に参入

社会の動き

平成22年度

- 22年９月　尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件
- 22年10月　鈴木章教授、根岸栄一教授にノーベル化学賞
- 23年３月　東日本大震災発生

平成23年度

- 23年４月　松井広島市長就任
- 24年１月　平和市長会議国内加盟都市会議を初開催

平成24年度

- 24年５月　東京スカイツリー開業
- 24年10月　山中伸弥氏にノーベル医学・生理学賞
- 24年11月　広島ヘリポート供用開始
- サンフレッチェ広島　Ｊリーグ初優勝

平成25年度

- 25年４月　「ひろしま菓子博2013」開催
- 25年６月　富士山が世界遺産

平成26年度

- 26年４月　消費税増税（５％⇒８％）
- 26年８月　平成26年８月広島豪雨災害発生
- 26年12月　赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏にノーベル物理学賞
- 27年３月　JR西日本とアストラムラインに新白島駅開業

年表で見る 40年のあゆみ

40 Year's History with Timeline

シルバー人材センター

平成27年度

- 27年 4 月　ゆるキャラ「チエブクロー」誕生
- 27年 6 月　無料情報誌「はた楽」創刊号の発行
- 27年 9 月　派遣法改正（60歳以上の派遣労働者の派遣期間制限撤廃）
- 27年10月　会員情報提供サイト「Smile to Smile」の導入
- 28年 3 月　本部建物の国道側に「会員募集」の大型広告版設置

平成28年度

- 28年 9 月　厚生労働省から適正就業ガイドラインが示される
- 29年 3 月　第 4 次基本計画策定
- 本部建物の国道側に「会員募集」のパネル設置

平成29年度

- 29年 4 月　趣味の出前サービス事業開始
- 空き家管理サービス事業開始
- 広島市消防局と火災予防の啓発等に関して協定締結
- 市民向け講座の開始
- 29年 6 月　シルバー活性化検討会議設置
- ラジオスポットコマーシャル放送（～令和 3 年 3 月）
- 29年12月　出張入会説明会開始
- 30年 1 月　当センターのキャッチフレーズ全国公募「任せてね!!　あなたと地域のお手伝い」に決定

社会の動き

平成27年度

- 27年 6 月　選挙権年齢18歳以上に引下げ
- 27年 9 月　安全保障関連法成立
- 27年12月　大村智氏にノーベル医学・生理学賞
- 梶田隆章氏にノーベル物理学賞
- 28年 1 月　マイナンバー制度利用開始
- 28年 3 月　広島広域都市圏連携協約締結

平成28年度

- 28年 5 月　オバマ米国大統領広島訪問
- 28年 8 月　広島駅南口再開発ビル「BIGFRONT ひろしま」完成
- 28年 9 月　広島東洋カープ　25年ぶりセ・リーグ優勝
- 28年10月　大隅良典氏にノーベル医学・生理学賞
- 28年12月　広島駅南口再開発ビル「EKICITY HIROSHIMA」完成
- 29年 3 月　JR 可部線　可部－亀山間で電化延伸して開業

平成29年度

- 29年 7 月　九州北部豪雨災害発生
- 国連が核禁止条約採択
- 29年10月　広島駅自由通路の全面利用開始

シルバー人材センター

平成30年度

- 30年４月　本部に企画係を設置
- 30年５月　「フラワーフェスティバル」のパレード参加
- 30年６月　事務局だより発行再開
- 30年９月　中野ふれあい農園が内閣府の「社会参加章」を受ける
- 31年１月　会費制度の見直し（１～３月の入会者　当該年度免除）
- 「交流カフェ」開始（本部４階ロビー交流スペース）
- 31年３月　会員互助会解散
- 新聞折込広告開始
- 会員数が12年ぶりに増加

令和元年度

- 31年４月　理事会専門部会に会員部会発足
- ２年２月　テレビスポットコマーシャル放送
- 本部事務所照明LED化実施

令和２年度

- ２年８月　テレビスポットコマーシャル放送
- ２年６月　ソーイング班でマスクの作成・販売
- ２年12月　市民、会員及び発注者アンケートの実施

令和３年度

- ３年４月　全国シルバー人材センター事業協会と職員人事交流開始
- 本部企画係に安全推進員を配置
- ３年６月　設立40周年記念式典の開催

社会の動き

平成30年度

- 30年４月　都市型スポーツの国際大会「FISE」が広島で初開催
- 30年６月　働き方改革関連法案成立
- 30年７月　平成30年７月西日本豪雨災害発生
- 30年10月　本庶佑氏にノーベル医学・生理学賞

令和元年度

- 31年４月　平成天皇退位
- １年５月　皇太子徳仁親王殿下が新天皇に即位　元号は「令和」
- １年８月　ラグビーW杯日本大会開催
- １年10月　吉野彰氏にノーベル化学賞
- 消費税増税（８％⇒10％）
- １年11月　ローマ教皇広島訪問
- ２年３月　「ひろしまはなのわ2020」開催

令和２年度

- ２年４月　新型コロナウイルス感染症のパンデミック　全国に緊急事態宣言
- ２年10月　核兵器禁止条約が発効
- ３年２月　新型コロナウイルスのワクチン接種開始

令和３年度

- ３年７月　東京オリンピック開催
- ３年８月　東京パラリンピック開催
- ３年９月　デジタル庁発足
- ３年10月　岸田内閣発足

文字で綴る 役員の声

Voices from Board Member's messages

設立40周年記念に寄せて

理事　柄脇　常雄

公益社団法人広島市シルバー人材センターの40周年記念を祝し、深い思い出を記します。

顧みれば、昭和61年４月センターの事務局長として就任時、酒井節司理事長に挨拶をすると直ちに「センターは公益法人と言えども一つの事業体です。毎年事業実績を積み、１年１億円の実績をあげるべきです。10年目には10億円の年間契約金額をあげてください。」と督励された。

その理事長が、不慮の事故が原因で亡くなられました。その後任として二代目理事長に就任しました。一方、事業実績は着実に目標に達しました。全国シルバー人材センター事業協会から優良シルバー人材センターとして全国表彰の栄を受けました。その事由は、設立10周年で10億円の事業実績を栄げ、また、女性会員の福祉・家事援助が全国のモデルになったことです。これも役職員と会員の一致した努力の賜物であると思います。

私は、平成３年理事長を退任し、会員理事として、以後、毎年総会議長に就任し、難問のでる総会を乗り切りました。

今も、生涯現役のつもりで人生全うしたいと思っています。

設立40周年に寄せて

理事　濱野　幸子

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

思い起こせば早いもので、シルバー人材センターで会員登録をいたしまして16年余り、会員互助会事務局で15年間お仕事をさせていただき、多くの方との出会いがありました。

会員互助会は令和元年３月で解散となりましたが、これからは会員部会として活動して参ります。毎月１回の交流カフェでは、皆さん物作りに挑戦し、個性ある作品が出来ております。３月の作品展を今から楽しみにしています。

行事に参加していただき交流の場が広がり、新しい発見と出会いがあることを願っています。会員部会の活動を広め、お一人でも多くの方にご参加いただき、発展し続けたいと思います。仕事を通してたくさんのことを学ばせていただきました。これからも新たな出会いを大切にして感謝の気持ちで日々活動して参りたいと思います。

コロナ禍での自粛生活を余儀なくされ生活は一変しましたが、一歩を大切に希望をもって、みんなで笑い語れる日が一日でも早く訪れることを願うばかりです。

たくさんの人との出会いに感謝し、これからも地域社会に貢献できるように頑張りたいと思います。

広島市シルバー人材センター並びに会員の皆様の一層のご発展とご健康を心より祈念いたしております。

設立40周年に寄せて

理事　家島　保隆

設立40周年おめでとうございます。

会員になって、広島市留学生会館、老人ホーム、広島市流通センター等の管理人を体験し、地域世話人や広報部会の一員としてシルバーだよりの取材等を体験中です。

広島市留学生会館の仕事が最初で、20数か国の120数名の留学生とその家族が生活する施設で、文化も生活習慣もバラバラな人たちが一堂で生活しています。生活ごみの分別で悩み、早朝や深夜のアルバイトをしながら勉学に励む姿に、母国の親に代わって守らなければの思いで交流しました。無事帰国したり、日本の企業に就職して巣立った学生たちとは今も交流が続いています。

次の老人ホームの仕事では、入居者に、かいがいしく、根気よく、優しく対応する介護士さんの献身的な対応に頭が下がりました。一方で体が不自由で思い通りにならない入居者のストレスの大変さも理解でき、貴重な勉強をさせていただきました。

次の広島市流通センター（トラックターミナル）はマツダスタジアムより広い敷地で、我々管理人班以外に、除草班、剪定班の会員の方も活躍されていることを知りました。

シルバーだよりの取材や、自らの仕事はいずれも未経験なもので最初尻込みしましたが、その都度職員の方や先輩会員の方の親切・丁寧なご指導をいただき多くの貴重な体験が出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

身近な人や会合で会う人たちに、私同様の感動や素敵な出会いを体験してもらえる仲間を一人でも多く増やして行けるように地道に頑張って参ります。

シルバー人材センター及び会員の皆様方の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

働く楽しさ、働ける喜び

理事　神庭　充史

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

私は入会して６年目になります。５年前から派遣会員として民間の事業所で働いています。最初は３名の派遣メンバーで１日２名が出勤し一人週３日の勤務でしたが、やがて５名で３名勤務、現在７名で４名勤務に拡大しました。一緒に働く仲間が増え明るく楽しく仕事をさせていただいています。

仕事の時は仲間として仕事を離れても気心の知れた友として、この歳になっても信頼できる友人ができるのは望外の喜びです。

もちろん健康であることが前提ですが、その上で仕事を通じ人との出会い・繋がる機会を得て共働・共助の楽しさを享受できるのは、まさにシルバー人材センターの基本理念のめざすところだと思います。感謝とともに心からお礼申し上げます。

さて、「戦争を知らない子供たち」と歌われた戦後生まれ（昭和21年以降）が間もなく後期高齢者になろうとしています。私は昭和24年生まれ、ズバリ団塊の世代です。その私の年齢がシルバー人材センターの会員平均年齢とほぼ同じになってきました。

つまりそれはシルバー構成員の中核になり始めているということなのでしょう。「働く楽しさ、働ける喜び」を実感しながら、改めて会員の一人として、微力ながら知恵を出し汗をかいて参りたいと思っております。

最後になりましたが、歴代の職員の皆様と数多くの先輩会員のご努力の積み重ねによって40周年の今日があることを感謝しつつ、これからの広島市シルバー人材センターの更なる発展を祈念申し上げます。

文字で綴る 職業分類リーダーの声

Voices from Leaders' of Occupation Classification messages

駐輪場から設立40周年に寄せて

駐輪場班　城本　光博

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

シルバー設立40周年が、私が入会して５年目の節目でもあり、これも何かの縁かと感慨深いものがあります。

現役時代は通信機器やパソコン相手の技術職に従事しており、駐輪場管理業務のような一時利用金の公金を扱い、登録利用や一時利用する多数の利用者（お客様）と接するサービス業と無縁の世界からの入会でした。

駐輪場管理業務の基本である「整理・整頓・清掃」は、先輩諸氏から「利用する人が気持ち良く利用していただくためには、お客様の立場になって、自転車等が出し入れしやすいように、整然と整理整頓等を行うことが大切」と教わり、これを胸に今日まで実践しているところです。

また、接遇の基本である「挨拶」についても、入会した当時は、気恥ずかしさや照れなどもあり、大きな声を出しての挨拶はできませんでしたが、接遇研修などで教わった「相手を見て」「自分から先に」「明るく丁寧に」「一人一人に」の『あいさつ』に心掛けました。そして、お客様からも笑顔で挨拶を返して貰うと、一種のコミュニケーションを感じ、嬉しさに感動しています。

今後も元気で明るい『あいさつ』と、お客様の不利益にならないよう臨機応変な業務対応に心掛けて、お客様が気持ち良く利用していただける駐輪場として、日々精進していきたいと思います。

昨年からの新型コロナ禍の終息は未だに見通せませんが、新型コロナに負けないシルバー人材センターの益々の発展とご繁栄を祈念いたします。

感謝の日々

剪定班　佐々木　春馬

設立40周年おめでとうございます。

私は、６年前、当シルバー人材センター主催の植木スクールで春季、秋季合わせて50日間の無償実践教育で、堀口力講師から樹木の名前、それぞれの剪定のやり方、道具の使い方、お客様との接し方、見積もり方法など沢山のことを教わり、この剪定の道へ送り出していただきました。当初、自分一人でやっていこうと考え妻に話したところ、「私も手伝うわ」と言ってくれ、とても嬉しかった。毎日の炊事洗濯、弁当作り、飲物の用意等々あらゆることを積極的にやってくれ、自分は剪定の事だけ考えればいい状態に……。

私の目標は、精一杯の剪定を実施してお客様に喜んでいただくことです。

お客様に終業報告をした時、ほとんどの方が「綺麗にしていただきありがとう！」と感激されます。私は「こちらこそ仕事をさせて頂きありがとうございました」と答え、喜びを感じてお客様に感謝します。

剪定班の仲間たちは多くの方が70歳を過ぎているのが現状ですが、どの顔を観ても活き活きしているように見えます。なぜだろうかと考えた時、業務の進め方にその要因があるのではと気付きました。その手順は、

1．事務局で受注を受け付ける。
2．担当会員に連絡される。
3．受けた会員は、その顧客を訪ね、剪定に関する希望を聞く。
4．基準に合わせ見積もりを実施する。
5．見積り金額を発注者に連絡し合意すれば契約が成立し、作業日などを決定する。
6．剪定を実施。

一連に係わり、お客様との繋がりを大切にし、主従の関係“やらされる”のでなく主体的に“やる”のです。

70歳を過ぎてなお目標があり、信頼して待ってくれている人たちがいて、達成感を感じさせていただける。何と幸せな日々だろうか……。

センター設立40周年に寄せて

剪定班　藤島　京子

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

これまで、40年の長きにわたり、諸先輩方、職員の方々には広島市シルバー人材センターの発展に寄与されてこられ、深く感謝いたしております。

団塊の世代といわれる我々は、平均寿命ものび、年々高齢化社会へと移行し続けています。反面、少子化により慢性的な労働力不足となっています。経済を円滑に回していく上で、高齢者の労働力が期待されているのも確かです。

定年年齢も徐々に延長され、シルバー人材センターに入会される方々の年齢が高くなってきています。元気なお年寄りが増えてきております。

私も当センターに入会して早いもので、8年を迎えました。お陰様で「明日しなければならないことがある。」「施主さんがたのしみに待っていらっしゃる。」、こうしたことは、自分が生かされている喜びであり、元気の源となっています。この年齢になっても、朝から仕事に出かけ、終了時には施主さんより「きれいになりました。ありがとうございます。」と喜ばれる様子をみるにつけ、一日の疲れも一気に吹き飛んでしまいます。このような気持ちを味わせていただけるのも、シルバー人材センターの果たされる役割はとても大きなものであり、心より感謝しております。

しかし、老化は着実に進んでいます。自分の健康・体力を過信することなく作業に専念しております。剪定作業はいわゆる3K(きつい・きたない・きけん)な作業であります。センターより依頼された大切な仕事を、安全には最大の注意と熱意をもって、これからも臨んでいきたいと思っております。

今後ともシルバー世代の“やる気”“元気”の掘り起こしに協力していただき、地域社会の方々に役立つかっこいいシルバー世代の強い味方となっていただけることを心より希望しています。職員の方々、そして素晴らしい仲間に助けられながら、これからも微力ではありますが、体力の続く限り頑張っていく覚悟です。

最後となりましたが、広島市シルバー人材センターの益々の御発展を心より祈っております。

設立40周年をお祝いして

除草班　上田　明

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

シルバー人材センターとして40年の長きにわたり発展して来られ、これもひとえに諸先輩方や職員の皆様の御尽力、努力が相まってのものと思われます。

私は42年間の室内業務を終え、家で2ヶ月間ゴロゴロしていましたら、結婚以来苦言をあまり言わなかった妻が、シルバー人材センターのPR用ティッシュを持ち帰り、「何か合う職種があるのでは？相談に行ってみれば……」と言いました。

第二の人生のスタートと思い、平成27年4月にセンターの窓口へ行き、ラッキーにも5月から除草作業に就くことができ、今日に至っております。

除草班のメンバーは、これまで異業種に従事されてきた方々で、休憩時にはあれこれと意外な面で新情報を手に入れることができます。

作業の面では、職員の方から「安全第一に」との指示を受けて、事故の無いように心掛けて今日まで来ました。特に通行される方、散歩される方々に「きれいにしていただき、ありがとう。」と声を掛けられた時の喜びは格別です。

今後も皆様に喜ばれる除草班を目指し、市民の方より苦言を言われぬよう努力することが除草班に与えられた使命であります。会員が楽しく活動でき、シルバー人材センターが益々発展することを心から祈りながら、祝辞とさせていただきます。

文字で綴る 地域世話人の声

Voices from Local Caretakers' messages

設立40周年をお祝いして

西区　熊地　妃和子

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

早いもので40周年なのですね。昨年今年と新型コロナウイルスのために色々な行事等が中止に成る中、我がシルバー人材センターにおいては、思ったほどの仕事の減少も無く、皆様方の日頃のおかげだとお聞きしました。

私は平成17年の４月に入会させていただきましたが、それ以来介護、家事、ベビーシッター等色々なお仕事をいただき感謝致しております。仕事をさせていただく事は、相手の方に喜んでいただくとともに、私も健康をいただきとても有難く思っています。

また仕事だけではなく、センターが行う色々な行事、ボランティアには出来る限り参加させていただいています。中野小学校２年生のサツマイモの植付から収穫までの手伝い、また他都市のシルバー人材センターの視察に行かせていただくシルバー活性化検討会議、地域世話人、会員部会等々自分に出来る事は参加させて頂いています。シルバー人材センター発展のために少しでもお役に立てたら幸いに思います。

これからも我が広島市シルバー人材センターが増々発展し、50周年、60周年に向けて活動されます様に心よりお祈りしながら、お祝いの言葉とさせていただきます。

設立40周年に寄せて

安佐南区　小清水　宮子

広島市シルバー人材センター設立40周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

40周年を迎えられたこと、各関係者のご支援、職員のご尽力の賜物だと思います。昨今は新型コロナ禍で大変ご苦労をなさったことでしょう。

人生の後半で子供が独立し、私は一人取残された気分で何も分からずシルバー人材センターに入会し、多くの事を学びました。介護、家事援助や事務局からパソコン教室の立ち上げの話があり一員として加わり、講師をして沢山の人と出会い、幸せな時を過ごしました。

保育園で働いた時の園児だった、その子の祖母の方がパソコン教室に習いに来られ、シルバー人材センターを通して多くの人々と縁が出来、また、地域世話人をさせていただいたお陰で、地域の多くの人と親しく話合いが出来ています。

今では広報部会で会員とシルバーだよりを一緒に作ったり、会員部会の交流カフェで皆さんとお茶したり、情報交換したりして、楽しい毎日を過ごしています。お友達もたくさん出来ました。近所だけでなく広島市全体に何人もでき、今年は新型コロナ禍の影響によりお会いすることも出来ず、電話やLINEして近況を話しています。

人生100年時代、と言います。まだまだ元気です。皆様これからも頑張って下さい。

最後になりましたが、今後も多くの出会いを創り、喜び、楽しく活動や仕事が出来るよう、益々のご発展を祈念致しましてお祝いの言葉と代えさせていただきます。

設立40周年に寄せて

安芸区　桑村　義文

広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

設立以来、役職員・会員が一丸となって努力し、基本理念の「自主・自立、共働・共助」を目標に頑張ってこられた結果が40周年につながったのだと思います。

私は平成20年９月に入会しました。

健康で仕事が出来、人との出会いを楽しみに除草班をずっと続けています。近年は高齢化社会となり庭の草取りが困難になり、シルバー人材センターに草取りを依頼される事が多くなっています。除草終了後にお客様からのねぎらいの言葉に疲れが取れます。

入会２年目より安全対策委員を９年間務め、作業の安全を皆で共有し、「事故０」を目指しました。

平成24年より互助会（山の会）を無事故で６年間お世話させていただき、最終会員数50人に達し楽しい山歩きを過ごしました。

現在は令和２年より安芸区中野東学区の地域世話人を引き受けさせていただいております。初めての会員動向調査では、地域の会員から色々な話を聞かせていただきました。そうした皆さんのお役に立てる様頑張っていきたいと思っています。

これからも人との出会いを大切に、健康で仕事に励みたいと思っています。

最後に、広島市シルバー人材センターが益々発展されます様、願ってお祝いの言葉とさせていただきます。

設立40周年をお祝いして

佐伯区　髙口　武美

この度は設立40周年をお迎えされましたこと、誠におめでとうございます。

関係各位、会員各位の皆様の日々の努力の成果と拝察いたします。

私は、日立で10年、ヒロテックで30年勤務しました。日立では身元調査、ヒロテックではフォークリフトの運転、事務等仕事全般を任されていました。

定年退職してシルバー人材センターの会員になり、駐輪場、お店のカート置き場を紹介していただき、先輩方の御指導によって15年以上勤めることができました。大変なことも多々ありましたが、日々のコミュニケーションを大事にし、経験が自分の財産になると頑張ってきました。

その経験から数年前は理事、今は地域世話人をさせていただいております。

昨年からの新型コロナウイルスの影響で、電話での動向調査になりましたが、会員の皆様のお元気な声を聞いて私が励まされました。高齢になり社会とも疎遠になりがちですが、シルバー人材センターのおかげでコロナ禍でも元気に過ごすことができております。

これからも、健康に気を付けて皆様に少しでも貢献できるように頑張ってまいります。

最後になりましたが、今後ともさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

文字で綴る 会員の声
Voices from Members' messages

設立40周年に寄せて

中区　小谷　亮子

この度は広島市シルバー人材センター設立40周年おめでとうございます。

思い起せば私がシルバー人材センターにお世話になり、早くも二十数年が過ぎました。

当初は夜も洗い場の方の仕事をしており、昼間の仕事を終えると自転車で職場の方へ行くのが十数年続いていました。そのお店も休業となり、現在はシルバー人材センターでいただいた仕事のみをしています。私の仕事は家事労働で相手先の家の中で仕事をしていますので、特に気を付けているのは、その家の事に対して「見猿、言わ猿、聞か猿」をモットーとして今日まで参りました。お陰様で２件行っているご家族の皆様にも信頼されて長きに渡り楽しく仕事をさせていただいています。これからも、まだまだ体力が続く限りは働く所存でいます。

これもひとえにシルバー人材センターに出合えたお陰です。80歳を過ぎても働ける喜びをかみしめて日々を過ごしています。本当に有難うございます。シルバー人材センターに出合えた事を心より感謝いたします。

高齢化社会となりシルバー人材センターを益々必要とされる人も増えてくる事と存じます。

これからもシルバー人材センターのより一層の発展を心より祈念いたします。

設立40周年に寄せて

東区　三吉　重三

広島市シルバー人材センター設立40周年まことにおめでとうございます。

設立以来こんにちまで、ご尽力された役職員の皆様に敬意を表し感謝申し上げます。

私は、1998年に会社定年退職と同時にセンター筆耕班に登録し会員証をいただきました。現役中に趣味として毛筆書道を続けておりましたが、シルバー筆耕業務には即通じませんでした。それで先輩方々からご指導いただき改めて猛勉強致しました。以来、シルバー筆耕は、お客様のために書く字だ、自分よがりは厳に慎む、「お客様は神様だ」の考え方に徹して筆耕業務に取り組みました。しばらくして先輩が担当しておられた書道文化教室を引継ぐことになり、筆耕業務は卒業して、一般書道と実用書道の２講座に専念しております。

教室に来られる方は、20歳代から90歳代まで、老若男女、初心者から経験豊かな達筆者まで非常に幅広い多彩な方々です。

今こそ、自分の持てる力を全開して、「受講者一人ひとりの要望に応えるべく誠意を持って対応しよう!!」「また皆さんが仲良く楽しく意欲的に書き続けられる教室をめざそう!!」を心掛けてやっております。

人生百歳時代といわれる長寿社会を、より良く生きるために、これからもシルバー文化教室で、皆さんと楽しく生涯学習を続けたいと思っています。昨年来、新型コロナ禍により教室も休講が多くなり大変残念です。一日も早く平常な教室が戻り皆さんの笑顔が集うことが出来ることを願っております。

おわりに、50周年に向けて益々のご発展を祈ります。

設立40周年に寄せて

南区　綿谷　嘉朗（前理事）

広島市シルバー人材センター設立40周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

私は、平成14年に入会し、留学生会館に管理人として勤務しました。その５年間、諸外国の学生さんに接し、国民性、異文化に戸惑いながらも貴重な体験をしました。

平成20年から公民館に変わり、現在に至っております。地域の皆様や、各種グループの方々との交流で色々な体験をしています。

同じころ会員互助会に入会し、予算、決算、企画、事業実施を自主自立の精神でたずさわって来ました。事業を実施するに当り、楽しみながら仲間作り、生きがい作り、健康増進、地域社会貢献に努めています。

会員の皆様に非常に喜んでいただき、「楽しみにしています」「次回は何時ですか」という声を聞き苦労が報われました。

平成29年シルバー活性化検討会議が発足、会員互助会の活動が、会員相互交流を通し、会員の増大、帰属意識の醸成、退会抑制に繋がると、重点項目に取り上げられました。

令和元年、諸事情により解散した互助会の事業内容をほぼ受け継ぎ、シルバーの専門部会として会員部会が発足しました。

センター全体として事業を行うことで、会員の対象範囲が拡大し、新たに事業参加者の増大と充実が期待されます。

今後ともシルバー人材センターのイメージアップと、会員であることの満足度の向上に取り組んでまいりたいと思います。

人生100年時代、高齢化社会と言われ、これからはシルバー事業の役割が重要となって来ます。

広島市シルバー人材センターの益々のご発展をお祈りいたします。

第二の人生をシルバー人材センターで

南区　増田　保（前理事）

設立40周年を迎えられ、心からお慶びとお祝いを申し上げます。

40数年勤めた会社内容と切り替えて、まったく未知のことをやってみようと、シルバー人材センターに入会し相談しました。自分の希望は植物（緑）関係でしたが、運よく植木スクールが開校していたので入校させていただき、20年あっという間に過ぎました。

入校した同期生はみんな職業等が異なり意思疎通がむずかしかったが、堀口先生の指導で植物の名称から、植木の手入れ、型作りと日々変わる場所、地形、お客さまのニーズに満足に答えられるよう勉強した結果、今も現役で頑張っています。

剪定作業をする上で、お客さまとの信頼関係をずっと持続するため、剪定会員が同じ条件（見積）で作業ができるように、堀口先生、本部、支部、出張所からの代表で長時間をかけて会員が共用で納得できる見積基準を作られた。画期的なことと思います。

庭の手入れ、剪定作業は奥が深く、これでよいは自己満足であり、手入れが終了し、後片付けが完全になって、お客さまから「明るくきれいになったね。」の言葉をもらって、はじめて剪定作業終了となる。

私はシルバーで剪定技術を取得したおかげで、地域の行事等に参加して、みなさんからいろいろと頼まれ感謝されています。第二の人生を軽く過せばよいと思っていたのが、まさかこんなに楽しく、みなさんから頼りにされ、その上健康で過せるのはシルバーのおかげです。

これからも第二の人生を有意義にするため、シルバーで培った、親切、丁寧な仕事と信頼、人の交流を深め、さらに安全意識の向上と健康管理を心がけて就業し、益々発展するシルバーでありますことを祈念いたします。

文字で綴る 会員の声

Voices from Members' messages

設立40周年に寄せて

安佐南区　片山　健二

設立40周年おめでとうございます。

私は、広島市交通科学館（ヌマジ交通ミュージアム）のおもしろ自転車及びバッテリーカート貸出業務に携わっております。

交通科学館は、1995年に設立されており、同時におもしろ自転車のコーナーも開設26年になり、設立以来、シルバー人材センターが関与されてきた職場と伺っております。

業務内容は主に自転車及びバッテリーカーの修繕、整備点検、貸出時間管理、利用者の安全運転指導等です。利用者は乳幼児から高齢者まで多岐にわたっており、色んな方々がおられるので、対応の難しさを感じております。とは言え、小さいお子様からは元気をいただいております。

私は、会社を定年退職後2013年に会社のOBにシルバー人材センターに登録を勧められ現在に至っております。

６人のメンバーでローテーションを組みながら共に務めておりますが、途中、永年務めてこられた先輩３名が一度に退職され、順番とは言え知識のないままリーダーに任命されたときは、どうなることかと思いましたが、良き仲間に助けられ、勤務しております。

屋外での業務が中心ですので、暑さ寒さを肌で感じながら勤務しております。

シルバー人材センターの先輩たちが培ってきた利用者の「安全が第一」をモットーに、暑さ寒さに負けずに健康に留意し頑張っていきたいと思います。

最後に、交通科学館とシルバー人材センターの益々の発展を心からお祈りいたします。

設立40周年記念に寄せて

安佐北区　小田　興治

この度は広島市シルバー人材センター設立40周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

私がシルバー人材センターにお世話になったのは、62歳で定年になり、１年間アルバイトをしている時に、シルバーの職員さんに出会ったのが縁で新年度４月に入会手続きを行い、除草班の会員にしていただき、あれから14年になります。

振り返れば、最初の現場は市立大学中庭で広大な敷地を10人前後にて横並びで草取り、中々前に進まなかったこと、１週間くらいかかった事を思い出し懐かしいです。

現場の作業エリアは、安佐南区・安佐北区と広範囲で大変ですが、先輩方が気さくに受け入れていただき、楽しみながら作業を行っていましたが、当時個人宅では作業が終わるまで行っており、４時近くになることもありました。また当時は剪定補助作業もあり、５、６人の剪定師に補助員２人という時、夏場などは大変辛い時期もありました。

今思えば懐かしい思い出ですが、その後本部の方々が会員の作業の事を思いシステムを工夫していただき、会員同士も和気あいあいとなり、色々な方との組み合わせにて作業現場に出向く日々。何と言っても、作業後お客様より「綺麗になりました。またお願いします。」との声が励みになり、その日の疲れも取れ、気持ちよくメンバーと帰る日々でした。

今後自身の膝関節症が気がかりですが、老人会の世話役と自身の健康管理を気にしながら後何年出来るか分かりませんが、良き仲間と一緒にお客様に喜んでいただけるよう、また地域にも貢献できればと思っております。

今後時世がら、中々シルバー人材センターに関心を持っていただく人も少なくなっていると思いますが、シルバー人材センターの50周年に向けて益々の発展と、関係者皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

創立40周年を祝して

安芸区　佐藤　一幸

シルバー人材センターは地域高齢者の職場斡旋という、極めて重要な役目を有し40年の節目を迎えられました。誠に喜ばしい事でお慶びを申し上げます。

立ち上げから40年、幾多先輩諸氏の汗の結晶が築いたこの誇らしい偉業に敬意を表し、更なる発展を願い拙筆を握りました。

私は定年を迎え一度は勤めを辞めましたが、同業の会社に請われて再就職をしました。しかし、職場は年下の者ばかりで、話題も少なく何かと気まずい日々に、悶もんとして居りました。かかる折りシルバーからお声をいただきました。

駅前の駐輪場は同年齢や地区の顔見知りの人たちばかりです。気苦労もなく５年の区切りまで勤めさせていただきました。

さあ、これから先き何をするか？思案を巡らせていたとき、今の駐車場の仕事をいただきました。家から徒歩でも10分足らず、作業内容も多少は理解しており躊躇なくお願いしました。１年を経過した処でチームリーダーを任じられ、今日に至っております。その間歴代所長には幾度となく助けられ感謝して居ります。大変有難うございました。

シルバー勤務の中で一番のラッキー事は、前の職場で得た３人の友です。趣味もそうですが、性格も合い何でも話せる仲です。旅行は年一度の楽しみでした。カラオケ、近場への行楽と何時も一緒です。がコロナ禍の今年、残念ながら自粛せざるを得ません。それでも最高の友を得られたシルバー勤務を大変有難く思っています。この強い絆を大切にし健康に留意し向後の作業を頑張ります。

職員・会員の皆様もいつかはシルバーを退く時が来ます。良い思い出と、素晴らしい友達が得られる事をお祈りします。

広島市シルバー人材センター40周年に寄せて

佐伯区　石谷　守

この度は、設立40周年誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私は、平成７年１月12日に、広島市シルバー人材センターに加入しました。

元職は事務の仕事で椅子に座ってお客様相手でした。かねがね、青空の下で伸び伸び仕事がしたいと思っておりました。

当時は一般の事業所で外務配達のバイトをしておりましたが、近所で同じ町内のシルバー会員さんに草取りの仕事に誘われました。誘われた方法とは「あんたまだ働いているのか、早くシルバーの草取りにきてくれんか」と度々言われたことです。バイトもシルバーも働くことに変わりないのにと、ちょっと苦笑でした。

後で知ったのですが、この方は、シルバー出張所では古くから超有名な方で、几帳面、頑固一徹、人情家等ヒューマニズムの固まりと言っていい方で、私としては仕事の面でも、私的にも大変貴重な心身、技術への糧となりました。今でも感謝しております。

シルバーの草取り業務の中で、ちょっと滑稽で愉快な出来事をひとつご披露します。

数年前の夏の草取りの時でした。「ボチャン」と大きな水音がしたので、ふと目をやると、大きな邸宅の庭の池に会員の一人が岩のコケに足を取られて頭から突っ込んで落ちた音でした。沢山の大きな緋鯉、真鯉もびっくりしたことでしょう。私もとっさのことでキョトンとしていました。幸い１メートル前後の深さでけがは無かったようでした。

その会員は途端にあたりを素早く見回して、バツ悪そうに飛び上がり「ヤッタわ」と叫んだ。もちろん頭から足先までズブ濡れです。

その日はお客様から衣服をお借りして、まともに作業を終えたわけですが、お客様からねぎらいと感謝のお言葉をいただき、恐縮したところでした。

永年勤めていますと、いろんなドラマがあります。自分達と人様の真心が通じ合えば、複雑な今の世相でも気持良く明るく暮らして行けるわけです。

終わりに、これから50周年、100周年とシルバー人材センターの末永い発展向上を願っております。

文字で綴る 発注者の声
Voices from Contractees' messages

設立40周年をお祝いして

株式会社善管　代表取締役　小林　栄次

広島市シルバー人材センターの設立40周年おめでとうございます。

私は、設立当時広島市に本社のあるビルメンテナンス会社に勤めていました。広島市シルバー人材センターの設立のニュースを自動車のラジオで聞きまして、かねてから短時間労働の人材を探していたので、直ぐにシルバー人材センターの事務局に伺いました。

当時は今のビルではなく、公民館の一室でした。そこからお付き合いが始まり現在に至っています。

平成５年に独立して善管にしましたが、業種が同じなので、ずっとお付き合いさせていただいています。清掃、ベットメイク、マンション管理員として業務に従事していただいています。

今後とも経験豊かな方のご活躍で社会に貢献されることを願っています。

広島市シルバー人材センターの益々のご発展を祈念しお祝いの言葉と致します。

設立40周年をお祝いして

広島駅弁当株式会社　総務人事部長　佐藤　正記

このたびは、広島市シルバー人材センターの設立40周年おめでとうございます。

広島駅弁当グループは、「食を通じて地域社会の課題を解決し、地域社会に必要とされ、貢献する企業を目指す」ことを使命に据えています。地域社会が抱える課題の一つとして異次元の少子高齢化社会への対応があります。食を通じて健康長寿社会の実現を目指す一方で、高齢者の皆様がいつまでも元気で豊かな人生を送られるために必要不可欠な条件である「社会参加」と「運動」の機会の創出にも貢献すべきであると考えてきました。

シルバー人材の皆様には、平成29年度に起ち上げた日本で類を見ない民設民営の学校給食受託事業の調理業務をはじめ、広島駅弁当グループの祖業である駅弁の調理業務など、様々な場面で熟練した技、豊かな智慧、強い責任感を発揮いただき、お客様に安全･安心で美味しい食を提供することに貢献いただいています。

しかしながら新型コロナウィルス感染症が人々の生活に与える影響は未だ弱まらず、先の見通しもつかない状況が続いています。広島駅弁当グループでは従業員の皆様の働く場を確保･維持していくために、アフターコロナを見据えた様々な対策を推進しています。雨降って地を固め、再びシルバー人材の皆様が身体を動かし、社会と交わり、いつまでも健康的で豊かな人生を送っていただける機会を創出してまいります。

そして末永く広島駅弁当グループを支える一員として、安全･安心で美味しく、地域の課題を解決する食の提供にご尽力賜れればと願っております。

これまでのご尽力に感謝するとともに、今後の広島市シルバー人材センターの益々のご発展を祈念致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。

設立40周年誠におめでとうございます

（一財）広島県環境保健協会　環境生活センター次長　石崎　誠司

40年前といえば、私がまだ高校生の頃で、はるか昔のような気もします。知識と技能、知恵と経験をお持ちのスタッフの皆様には、広島の多くの企業の方々がお世話になっていると思います。

当会ではシルバー人材センターのお世話になって約20年が経過しました。当初働いておられたスタッフの皆様は自分の祖父母の年代でしたが、現在では父母の年代の方々になっていました。いつの間にか自分が年を取ったことを実感するとともに、シルバー人材センターとのお付き合いの長さを感じます。

現在、当会で就業していただいているスタッフの皆様は仕事が丁寧で、調査分析機材等の洗浄や器具等の片付けをはじめ、単調な作業や細かい作業も根気よくやっていただいています。時には人生の先輩として、改善などのアドバイスもいただくこともあります。

私は、普段からスタッフの皆様にできるだけ声かけをして、コミュニケーションをとるようにしています。時には息子のような気持ちで声をかけることもあります。スタッフの方から旅行のお土産をいただいた時には、亡くなった父親を思い出しました。

あと10年もすれば、私もシルバースタッフの皆様の年代になりますが、自分がその年代になったとき、現在就業していただいているスタッフの皆様のように、元気に働いていられるよう健康維持に努めたいと思います。

今後のシルバー人材センターの益々のご発展とスタッフの皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

設立40周年に寄せて

広島市植物公園　園長　世羅　徹哉

広島市シルバー人材センターの設立40周年おめでとうございます。

広島市植物公園は、来園者の方々が憩いの場として楽しみ、さらに植物や園芸について学ぶことのできる場所です。このような施設として充実させるために、世界の植物を集めて栽培していますが、良好な状態で展示するために最も大切な仕事は、植物の栽培管理です。

シルバー人材センターにはおよそ30年前から、土作り、種まき、植えつけ、施肥といった栽培管理に関わる様々な作業の一部を担っていただきました。平成22年以降は労働者派遣という形態になり、現在13名の方が職員の補助として幅広い業務に携わっています。豊富な人生経験を活かして業務に励まれる皆さんは、公園を支える裏方としてなくてはならない力となっています。

これまで長い間、本園の運営に貢献いただいたことに感謝申し上げますとともに、シルバー人材センターの今後の益々のご発展を心より祈念いたします。

文字で綴る 発注者の声

Voices from Contractees' messages

設立40周年をお祝いして

社会福祉法人　平和会　特別養護老人ホーム　やすらぎの里
施設長　上田　辰彦

広島市シルバー人材センターが設立40周年をお迎えになられ、誠におめでとうございます。

当施設は、介護保険法が成立した平成９年12月の同時期に開設して以来23年余りにわたり、地域の皆様のご協力を得て高齢者の介護に献身的に邁進しています。

従事する職員は、高齢者・障害者・健常者が一体となって「利用者へのサービス向上」と「働きやすい職場づくり」に取り組んでいるところです。

こうしたこともあり、厚生労働省が全国的に推奨している「優良認証法人」として魅力ある福祉・介護の職場宣言を実施しています。

とりわけ、高齢従事者の代表としてシルバー人材センターよりご紹介していただいてます洗濯や清掃の方々に大変お世話になっています。

現在のコロナ禍においては、その役割である清潔の保持が施設全体の衛生管理に大変重要な成果を上げており、心より感謝申し上げます。

このお仕事は、施設入所者の方々の介護に直接携わる業務ではありませんが、今まさにシルバー人材の力がなくてはならない社会的ニーズとして大きく評価されています。

これからもシルバー人材の方々におかれましては、健康には充分ご留意され高齢化の進む社会の下支えでありながら、社会全体の重要な業務を末長くお願い申し上げます。

最後に、シルバー人材センターの今後益々のご発展を祈念いたします。

設立40周年をお祝いして

特別養護老人ホーム和楽荘　副施設長　伊藤　理恵子

広島市シルバー人材センターの設立40周年おめでとうございます。

介護人材の不足が言われている昨今、介護職員が介護に専念できるようシルバー人材センターに施設内の清掃をお願いしております。昨秋、初めて会員の皆様が仕事内容の確認に来荘された際、「新型コロナウィルス感染予防のために職員には、不要不急の県外移動や大勢での飲食を伴う会食をしないよう話しているので、会員の皆様にも同じことをお願いしたい。」と要望を伝えると、快く了承いただき、和楽荘で行われる毎月のPCR検査にも参加していただいています。まさに職員と同じ気持ちで働いてくださっていることを今も感じています。

その仕事ぶりは堅実で丁寧そのもの、５名の会員さんが仕事に穴を開けることなく連携を取りながら、働いてくださっています。

介護リーダーにも意見を聞いてみました。

「感謝しかありません。本来、私達が行うべき仕事と感じているので時間がある時には手伝おうとしますと、「大丈夫ですよ。これは私達の仕事です。」とやんわりと断られました。お願いした仕事はきちんとやっていただいて本当に助かっています。」と。

会員の皆様がこれからもお元気でいてくださるよう、シルバー人材センターという素晴らしい組織が今後益々発展していかれますよう、祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。

前理事長の声

Voice from former Chairman's message

設立40周年を祝して

前理事長　山﨑　昌弘

広島市シルバー人材センターが設立40周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

私は平成30年６月から３年間理事長に就任していましたが、当初は、継続雇用制度の導入拡大等をはじめとする高年齢者の就業環境の変化やリーマンショックによる経済状況の悪化等の影響を受け、最盛期には5,000人を超えていた会員数が3,700人を割り込むまで減少するとともに、契約金額も減少の一途を辿っていました。

このため、平成29年度から、学識経験者や会員で構成する「シルバー活性化検討会議」を設置し、職員・会員一丸となってシルバー事業の活性化に取り組み、その結果、平成30年度は会員数が増加に転じ、令和元年度には会員数・契約金額とも前年度を上回ることができました。その過程で、会員増等に成果を上げているシルバー人材センターを訪問調査する機会があり、その際、検討会議委員（会員）の方々が積極的にご質問されている姿を拝見し、間違いなく当シルバーも以前のように活性化することができるという思いを抱いたことを忘れません。

一方で、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、広島市シルバー人材センターにとって未曽有の一年となりました。

人と人の接触を最小限に抑えるという感染防止対策は、入会者拡大に効果を上げていた出張入会説明会や、市民を対象とした文化教室等の中止を余儀なくさせられたばかりか、就業中の会員が自ら又は家族の要望により就業辞退を申し出るという事態にまで発展し、令和２年度の会員数・契約金額はともに減少に転じましたが、減少幅は最小限にとどまりました。

これは、会員が就業されている業務の多くは市民の日常生活と密接に関連しており、社会生活の維持に欠かすことができないものが多いということと、その要請に応え就業し続けていただいた会員の皆さまのおかげであり、まさに当センターの目的である「高年齢者の就業を通じた生きがいづくりと地域社会の発展に寄与すること」を実践しているものと再認識しました。

今後、少子高齢化はますます進展し、令和18年には３人に１人が65歳以上の高齢者になると推計されていることから、地域においては、人口減少と高齢化の進展に起因する様々な課題が顕在化すると考えられ、その解決の担い手としての役割もシルバー人材センターに求められるようになるのではないかと思います。会員の皆様方におかれましては、シルバー事業を通じて活動することで自らの健康増進に役立てていただきますとともに、地域の活性化や当センターの発展に、引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。

終わりに広島市シルバー人材センターにおかれましては、今後ますますご発展されることをご期待申し上げますとともに、会員の皆様、関係者の皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

シルバー活性化検討会議

広島市シルバー人材センターの課題であり、第四次基本計画の柱の一つでもある「会員の確保」に向けて、会員数の減少に歯止めを掛け、増加に転じさせていくため、平成29年度に、外部委員（大学教授、関係団体、行政関係者）と会員で構成する「シルバー活性化検討会議」を設置し、課題解決のため、

1　シルバー事業PR（認知度の向上）
2　就業開拓（新規事業を含む）
3　退会抑制

等の項目について協議検討を行い、提言していただきました。

その後、毎年諸課題を検討して、事業の検証及び評価をしていただき、その講評を翌年度事業に反映して事業の拡大に取り組みました。

シルバー活性化検討会議のメンバー

理事長に「提言書」を提出

議論・検討中の様子

その結果、平成19年度から11年連続で年度末の会員数が減少していましたが、平成30年度からは12年ぶりに前年度の会員数を２年続けて上回ることができました。

しかし、令和２年度は「新型コロナウイルス感染拡大」の影響もあり、会員数は減少しました。

【参考】会員数の推移

区　分	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末
会員数	3,633人	3,758人	3,902人	3,807人

【取組内容】

1 シルバー事業のPR（認知度の向上）

ボランティア活動の推進、シルバーの日事業・市民向け講習の充実強化、求人広告の活用

シルバーの日のボランティア清掃

市民講座（植木の手入れ）

2 就業開拓（新規事業を含む）

「介護補助」など同世代を支える事業、「育児支援・学童保育」など次世代を支える事業、「駐輪場等管理」など地域社会を支える事業、さらに「人手不足の地元企業への派遣」など地域経済を支える事業の積極的な取組

駐輪場管理業務

放課後児童クラブ見守り業務

3 退会抑制

未就業会員相談日の設置、会員部会の充実によるセンターに対する帰属意識の醸成（「交流カフェ」や「グラウンドゴルフ大会」の実施等）

交流カフェ

グラウンドゴルフ大会